

## 寅さん歩 その 26

### 東京の主要道路の起点～終点

#### 自由通り一2

平野 武宏



道路名の標識・経路案内標識や標識の数字・その形に興味を持った寅次郎、東京の主要道路を起点から終点まで道路標識を頼りに歩いて、各交差点で交差する道路を学びたいと思い、2021年10月から「不忍通り」、「白山通り」、「春日通り」、「明治通り」、「昭和通り」、「平成通り（番外編）」、「靖国通り（元 大正通り）」、「内堀通り」、「目白通り」、「目黒通り」、「本郷通り」、「世田谷通り」、「江戸通り」、「外堀通り」、「山手通り」、「環二通り」、「外苑東通り」、「外苑西通り」、「永代通り」、「中央通り」、「桜田通り」、「新大橋通り」、「日比谷通り」、「清澄通り」、「晴海通り」、「新宿通り」、「青山通り」、「玉川通り」、「尾久橋通り」、「尾竹橋通り」、「言問通り」、「墨堤通り」、「多摩堤通り」、「三ツ目通り」、「四ツ目通り」、「早稲田通り」、「浅草通り」、「六本木通り」、「池上通り」、「駒沢通り」、「海岸通り」、「清洲橋通り」、「井ノ頭通り」、「葛西橋通り」、「中野通り」、「平和橋通り」、「大久保通り」、「蔵前橋通り」、「道灌山通り」、「川の手通り」と歩いてきました。

今回は「自由通り」を歩いています。自由通りは大田区の中原街道の雪が谷大塚駅前交差点を起点に、世田谷区の玉川通りの駒沢大学駅前交差点に至る延長約5kmの道です。写真右上は自由通りの道路名標識（都道426号線）です。

前回は起点から奥澤神社まで歩きました。今回は奥澤神社から終点まで歩きます。掲載の写真は人や車の密を避けた時間帯に撮影しました（一部は以前の訪問時に撮影したものもあります）。詳細を知りたい方は各道路のホームページをご覧ください。最寄駅は交通機関を利用した場合の代表駅です。

バーチャルウォークの途中経過も報告します。

**[奥澤神社]** 世田谷区奥沢五丁目 最寄駅 東急目黒線 奥沢駅

「奥澤神社」（写真下）は世田谷城主 吉良氏の家臣、大平氏が奥沢城を築くにあたり守護神として勧請したと伝えられます。例祭の9月14日・15日に、江戸中期より伝えられている「厄除の大蛇お練り」の特別神事が行われます。

寅さん歩 188 江戸・東京の祭 61 江戸らしい祭—25 をご覧ください。



## [東急大井町線・東急東横線]

最寄駅 自由が丘駅

目黒区に入り、東急大井町線（写真下左）を渡ります。左側に自由が丘駅（写真下右）が見えます。東急大井町線は品川区大井町駅と川崎市溝の口駅を結ぶ東急電鉄の路線です。沿線には東急電鉄各線との乗換駅があります。



自由通りは東急東横線の踏切を越して右折して進みます（写真下左右）。東急東横線は渋谷区渋谷駅と横浜市横浜駅を結ぶ東急電鉄の路線です。東京メトロ副都心線、東武東上線、西武池袋線、みなとみらい線、都営三田線、相鉄線と相互直通運転をしています。行き先表示に今までと異なる新しい駅名があるので要注意です。自由が丘の地名は大正時代初期に舞踊家の石井猷氏がこの地に舞踊研究所を開いた際に「自由が丘」の地名を最初に名乗ったとされています。鉄道の利便性が良い住宅街で遠方から多くの人（特に女性）が訪れるスイーツの激戦区です。



**[中根交差点]** 目黒区中根一丁目 最寄駅 東急東横線 自由が丘駅

中根交差点（写真下左）で目黒通り（都道 312 号線）と交差します。左へ行くと等々力方面、右へ行くと都立大学駅方面です。



**[呑川緑道]** 目黒区八雲三丁目 最寄駅 東急東横線 都立大学駅

中根交差点を直進すると自由通りを横切る「呑川緑道」（写真下左右）があります。呑川緑道は世田谷区から目黒区、大田区を流れる呑川沿いの散策路です。3つの区のホームページにそれぞれの区内の紹介があります。住宅街で緑道に入ると気持ちが安らぎます。



### [八雲交差点] 目黒区八雲

最寄駅 東急東横線 都立大学駅

八雲交差点（写真下左）は左へ行くと深沢方面、右へ行くと柿の木坂方面です。自由通りの脇には畑（写真下右）もありました。



### [東京医療センター前交差点] 目黒区東が丘二丁目

最寄駅 東急田園都市線 駒沢大学駅

東京医療センター前交差点（写真下右）で駒沢通り（都道 416 号線）と交差します。左へ行くと二子玉川方面、右へ行くと中目黒方面です。自由通りは直進します。東京医療センターの前身は海軍医学校第二附属病院で 1945 年（昭和 20 年）国立東京第二病院、1998 年（平成 10 年）国立病院東京医療センターに改称、2001 年（平成 13 年）厚生省に移管、2004 年（平成 16 年）独立行政法人国立病院機構東京医療センターと改称されました。



写真左は自由通りの右側の東京医療センターの建物です。左側は駒沢オリンピック公園で、陸上競技場の駐車場です。日曜日の8時頃でしたが、多くの車が駐車していました。

## [駒沢オリンピック公園] 世田谷区駒沢公園

最寄駅 東急田園都市線 駒沢大学駅

目黒区の自由通りを歩いていますので世田谷区の駒沢オリンピック公園は公園内の周回路（写真下左右）入口を左側に見ながら歩きました。駒沢オリンピック公園は寅さん歩 491 駒沢通りをご覧ください。



## [駒沢大学駅前交差点] 世田谷区駒沢一丁目

最寄駅 東急田園都市線 駒沢大学駅

また世田谷区に入り、玉川通り（国道 246 号線）の駒沢大学駅前交差点（写真下右）が自由通りの終点です。左へ行くと溝の口方面、右へ行くと渋谷方面、直進すると若林方面です。



写真左は自由通り終点の標識です。これにて自由通りを起点から終点まで歩きました。大田区・目黒区・世田谷区を通る初めて歩く道でした。見所の位置関係がつながりました。

## [バーチャルウォーク途中経過]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、バーチャルウォーク「東海道五十三次」京上りに挑戦しています。東海道五十三次はバーチャルウォーク「弥次さん 喜多さんと伊勢参り」で2021年（令和3年）9月から歩きました。寅さん歩379 令和3年10月から掲載済です。今回は宿場などを紹介しながらゆっくと歩きます。現在やこれから東海五十

三次を歩くウォーカーの皆様と街道途中でお会いするのを楽しみにしています。連絡を取り合って、どこかの宿でバーチャル宴会をしたいですね。皆様の旅の進度のご連絡をお待ちしています。

2023年8月8日、お江戸日本橋（現在の中央区日本橋一丁目）を出発、2023年10月24日藤枝宿（現在の静岡県藤枝市）（江戸日本橋から196km）に到着しました。各宿場は歌川広重の浮世絵（無料画像）や宿場などでの話題を紹介します。各宿場については八柳さんからいただいた「完全東海道五十三次ガイド（東海道ネットワークの会）」を参考にしています。



写真左は「藤枝 人馬継立」です。人馬継立は荷物の中継所で、ここで人馬を交換し、荷物の受け渡していました。到着したグループと出発するグループの様子が生き生きと描かれています。

藤枝の名物は「瀬戸の染飯（そめいい）」（写真下左）、「おでん」（写真下右）です。瀬戸の染飯は強飯をクチナシの汁で黄色く染めて、すりつぶした食べ物です。そのにぎり飯がむかしは山越えの携帯食となりました。おでんは真っ黒なだしの中に串先にした具材を入れて煮込む「静岡おでん」で静岡県の各地にあります。



毎日の運動不足対策や事情で例会に参加できない場合はマイお散歩コースを見つけ、その歩いた距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。

FWAのHP「YR・四季の道」の「バーチャルウォークコーナー」は各コースが紹介され、各コースシートが印刷できます。

今回の東海道五十三次のコースシートは1マス2kmを塗りつぶして進みます。

マイペースの散歩で塗りつぶしていく楽しみがあります。

また「ひとり歩きコーナー」には地図付きの各コースがありますので選んで印刷してご利用ください。

平野 寅次郎 拝